

## 稲敷市 “持続可能な地域づくり” ニュース <vol.6>

9月22日（木）、第4回「いなしきを未来につなぐ地域づくりワークショップ」が開催されました。今回のワークショップでは「地域の活動」をテーマに、自分たち（市民）が楽しみながら、持続的に取り組めそうなこと・取り組みたいことについて話し合いました。

各部会からは、商店街や笑遊館、公園、地区の公民館、新利根川沿いの桜堤などを活用する案が出され、自分たちにできる取組と、その取組のために民間企業・行政からどんなサポートが必要か意見交換を行いました。市民・民間企業・行政でそれぞれできること・得意なことを生かし、バランスよく連携していくことの重要性を感じました。

また、今までのワークショップでは部会ごとの話し合いがメインでしたが、今回は部会でまとめた意見を発表してもらった後に、全体での意見交換の場を設けました。「地域の活動」をさらに良くするためのアイデアが地区を超えて飛び交い、時間が足りなくなるほど大変盛り上がりしました。



今後は、11月下旬に第5回ワークショップを、12月中旬に第3回「稲敷市持続可能な地域づくりプラン策定委員会」を開催する予定で、ワークショップ・委員会ともにこれが最終回となります。いよいよ「稲敷市持続可能な地域づくりプラン」の策定まであと一歩です。

ワークショップ参加者からは、プラン策定後もこの集まりを継続していきたいという声があり、事務局一同嬉しく思っています。ワークショップ参加者同士のつながりは回を増すごとに強くなってきており、積極的にワークショップ外での活動も行われています。ワークショップでの出会いをきっかけとした、市民が主体となった地域づくりの萌芽に今後も期待です。

<稲敷市企画財政課>

## 《ワークショップの内容》

## 第4回ワークショップについて

「地域の活動」を考えてみましょう

みなさんには、これまでいろいろな意見・アイデア提案・議論をしていただきました。

今回は・・・

**自分たち（市民）が楽しみながら持続的に取り組めそうな・取り組みたいこと**

を話し合ってください。

- ①「どんな活動か?」「活用する地域資源は?」「自分たちができることは?」「必要なプラスαのサポートは?」を話し合います。【45分】

どんな活動に 取り組むか (テーマ)	活用する (できる) 地域資源は	自分たち（市民） ができること	プラスα		作戦名
			民間企業との 連携・協力	行政との 連携・協力	

- ②発表・質問【15分×4地区＝60分】

地区ごとに取りまとめた内容を発表し、それぞれの内容について、質問やさらに良くするためのアイデアの提案など、地区を超えて話し合います。

- ③全地区を終えてあらためて気づいたこと等の意見交換【10分】